第１回ポスト牧野博検討委員会での意見

資料２

目指すべき方向	ゴール	●長期滞在を促していくべき
	ターゲット	●インバウンド及び富裕層を意識することが必要
誘客策の方向性	柱となるテーマ	●これまでの集大成となるような打ち出しができないか ●「学び」を主軸とした展開ができないか ●(案1)テーマを絞った展開(例:川、海、山3部構成)、 (案2)テーマを創出(例:高知家版ATの展開)(案3)テーマの再編 ●観光客と受入側がサステナブルな関係性を作るということに着目してはどうか
	テーマを貫くコンセプト	●2～５年といった長期の展開として欲しい ●高知県ならではの長所を活かした施策の展開して欲しい
具体的な展開	具体的なコンテンツ（コンテンツ）	●各地域の「おきゃく文化」の発信ができないか ●高知の昭和をテーマに各地をPRできると面白いと思う ●広域的なとらえ方での川をテーマとした観光の推進は良いと思う
	具体的なコンテンツ（魅力的なコンテンツの発掘と磨き上げ）	●作り上げてきたコンテンツの深掘り及び地域のコンテンツのブラッシュアップ・再構築をして打ち出してはどうか ●方言など、高知の雰囲気が伝わるコンテンツ作りができないか ●県民にとって日常的なものや人そのものが資源になり得る
	キャッチコピーの検討	●高知の観光を表す言葉やシンプル・キャッチーな名前が望ましい
	情報発信の動線設計	●若い世代にはSNSの活用が必要 ●移動時間をどう楽しくすごすか、交通弱者にも優しい観光の提供が必要 ●高知県内の年間行事スケジュールとその場所までの距離感等を提供できないか ●映像美による、インバウンドを意識したWEBプロモーションが必要